

式 辞

(前略)

ただいま、本校への入学を許可いたしました35名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから、みなさんが出雲崎高校生としての第1歩を踏み出すに当たり激励の言葉を述べさせて戴きます。

早速ですが新入生の皆さんに1つ質問します。
あなた方が1年前の入学生と異なる点は何だと思えますか？
少し考えてみてください。

答えが沢山浮かんだと思いますが、私が最も大切だと考えるのは「皆さんが本校の教育をより深く理解して、入学式の席に着いている」という事実です。

それは、皆さん方も知ってのとおり、12ヶ月前に遡りますが、県内の全ての公立高校は各校の教育方針を示すスクールポリシーを公開しました。そして、皆さんは「本校の教育理念」を理解し、本校を選び、今日、この席に着いているわけです。

「本校の教育理念」を簡潔に言えば「心耕」です。

「心耕」とは「心を耕す」と書きます。農家の人は豊かな実りを期待して、何度も何度も土を耕し、土を軟らかくし、豊かな実りを目指すわけですが、「心も同じ」です。

では、皆さんに再度、質問します。

豊かな人生を目指して、出雲崎高校生徒となったあなた方は「心」をどの様にして耕せばよいと思えますか？

その答えを2つ示しますので、今、この場で知って戴き、今日から実践することを約束してください。

その1つ目は「きまりを守る」こと。2つ目は「仲間を支え合う」ことです。

1つ目の「きまりを守る」とは、安全・安心な学校生活をつくる上で必要なことです。

その具体の一例を挙げれば「言葉」遣いです。乱暴で、冷たい言葉は使わない。思いやりを感じる温かい言葉を使うということです。この様に「社会で求められる行動規範」も「きまり」の中に入れます。

毎日、「言葉」の持つ力を意識して生活するだけで、心は確実に耕されます。

2つ目は「仲間を支え合う」ことです。

皆さんは、これからの人生の中で、大なり小なり困る場面、悩む場面が出てくるはずです。その時に、今日、ここに集った仲間同士で支え合っていくのです。例えば「学習」場面であれば、友達同士で教えあい、学び合ってください。それ以外の日常においても、相談し合い、支え合い、サポートし合ってください。

それにより、みんなの心は確実に耕されます。

皆さんは本校のスクールポリシーに共感して入学してきた1期生です。その1期生としての自覚を持ち、「きまりを守る」「仲間を支え合う」。このことを、毎日コツコツと繰り返し、それが当たり前となるまで心を耕すと約束してください。

さて、少し先の未来を想像してみましょう。

その未来とは「1年後」です。

それは、みなさんが誰一人残らず、この約束を守り続け、それ

らが集団の行動様式として習慣化しているであろう 1 年後です。

そのとき、あなた自身は、自分の人生が希望に向かって輝いていることを実感出来ているはずです。

そして、友達は、あなたと一緒に入学し、学校生活を過ごしているご縁に幸せに感じているでしょう。

ご家族は、あなたの人間的な成長を感じる中で、「よし、私も負けてられないぞ」と元気と勇気をもらって、多くのことを考え、ご自身の人生に思いを巡らせることでしょう。

出雲崎の町民の方々は、若さあふれるあなた方の前向きなエネルギーにふれ合う中で、出雲崎町の町民で良かったと、一層感じてくださるでしょう。

最後に、私たち教職員は、その様な姿を見せて戴く中で、より良い教育に向けて一層がんばれるのだとも思います。

人生とはその様なものだと思います。

つまり、あなた方の「心を耕す」行為が、あたかもドミノ倒しのように、身近な社会の好循環を生み、あなた方自身が、より良い社会の形成者となっていくわけです。

出雲崎高校の教育を受ける中で、自らが社会の好循環を自ら生み出していくことに夢と希望を感じながら、毎日の学校生活を過ごしていくことを期待しております。宜しくお願いします。

ここからは保護者の皆様をお願いします。

本校では、ご存じのように「一人ひとりを伸ばし、輝かせる教育」を掲げて、職員一同取り組んでおります。

本校卒業時のお子様は「精神的な自立」「社会的な自立」「経済的な自立」の礎を築き、そして「希望への輝き」をもち、「ゆたかな情操」を備えていることでしょう。

その前提として必要なことの一つは、学校と家庭との教育方針を揃え、一緒に歩んでいくことです。是非、連携しながら、一緒にお子様の成長支援をお願いいたします。

(後略)